

2022年 1月 30日

主 日 礼 拝

①8:30am ②10:30 ③1:30pm ④7:00

司 会

②石井 秀人兄

奏 楽

祈 禱

②白川 達男兄

賛 美

聖歌593番 ～恐れなくていいよ～

詩篇23篇

聖書朗読

サムエル記下1章17～27節

特別賛美

大和カルバリー聖歌隊

メッセージ

「わたしについてきなさい」

石井 潤 牧師

献 金

聖歌591番 ～主イエスをほめよ～

祝 禱

お知らせ

〔司会者〕

賛 美

～わが主イエスよ～

☆礼拝にお越しくださった皆様を心よりご歓迎いたします！☆
《今週のお知らせ》

★本日も礼拝の恵みを感謝します。今週も主の守りと助けをお祈り致します！

☆今週の祈り会：○早天祈祷会：明朝6時～。◎祈祷会：木曜午前10時半～
夜7時半～（大和の祈祷会映像に参加）○準備祈祷会：土曜夜8時～。

★来週の日曜礼拝も4回行います。〈司：白川 達男兄／祈：寺澤 政枝姉〉。

◎今後の主な予定：卒業祝福式3／20（日）、信徒懇談会3／27（日）

☆一年に一回聖書を完読できる！ Bible Reading Plan [1/30－2/6]

Date	日	月	火	水	木	金	土	日
旧約	出エジプト記 15-16	17-19	20-21	22-23	24-26	27-28	29-30	31-32
新約	マタイ 20:20-34	21:1-22	23-46	22:1-22	23-46	23:1-22	23-39	24:1-28
チェック	〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇

「わたしについてきなさい」

～主によって与えられた新しい生き方とは～

「それで、私たちは、今後誰をも肉に従って知ろうとはしません。かつては肉に従ってキリストを知っていたとしても、今はもうそのように知ろうとはしません。だから、誰でもキリストにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去り、まさに新しいものが生じたのです。」コリント人への第二の手紙5章16-17節〔日本聖書協会共同訳2018年発行〕

ダビデの人生は多くの試練、痛みの上に土台して前進していました。私たちは誰も、今までの人生を土台として生きています。過去に受けた傷や、痛みを糧にして生きている人たちもいます。良い経験も私たちの土台となっています。そのことへの感謝を持って、未来に向かって前進するのです。しかし、私たちは少なからず、良い経験も悪い経験もそれぞれが現在の私たちを形作っていると言ってよいでしょう。そこから脱却して、「全く新しい人生を送りなさい！」と言われても、ある意味で不可能であると言えます。

パウロの人生もまた同様でした。このコリント人への第二の手紙を書いた時点でのパウロの考えはどうだったのでしょうか。ユダヤ教の薫陶を受けて育ったサウロの時代のパウロがいました。そこからダマスコへの道の中で、天におられたはずのイエス・キリストとの劇的な出会いを経験し、それまでのパウロの考え方を全否定されたような大きなショックを経験します。そこから、クリスチャンとしての生き方へと変えられていきました。しかし、この第二コリントのときには、さらにそれから20年以上も経過していました（パウロの回心は33－35年頃。第二コリント書執筆年代は56－57年頃）。パウロの信仰も日々変化、成長していたことでしょう。キリストとの出会いはパウロを日々新たに成長させていました。キリストを「肉によって」知ろうとするならば、それは新しい生き方ではなく、「霊によって」体験することを通してキリスト者は日々新たに変わられていくのだ！ということを語っています。

今日の聖書通読の旧約聖書の箇所、出エジプト記16章は、マナの箇所です。イスラエルの民は日々の糧を集めるために毎日、毎朝マナを1オメル（約2.3ℓ）だけを集めるために出て行きます。それを次の日のために取っておくと腐って虫が出てきてしまいます。しかし、安息日の前の日だけはその二倍の2オメル集めても、翌日になっても腐ることはありませんでした。神様の恵みも同様です。新鮮さが命となります。私たちは人生の中で、日々新たにキリストを体験する必要があります。過去との決別も私たち自身の力でできるものではありません。「わたしについてきなさい」と語られる主ご自身に対して私たちは日々ついて行くだけです。今日、あなたに対して主はどのように語られていますか？日々、主の語りかけを聞くように努めていきたいと思います。